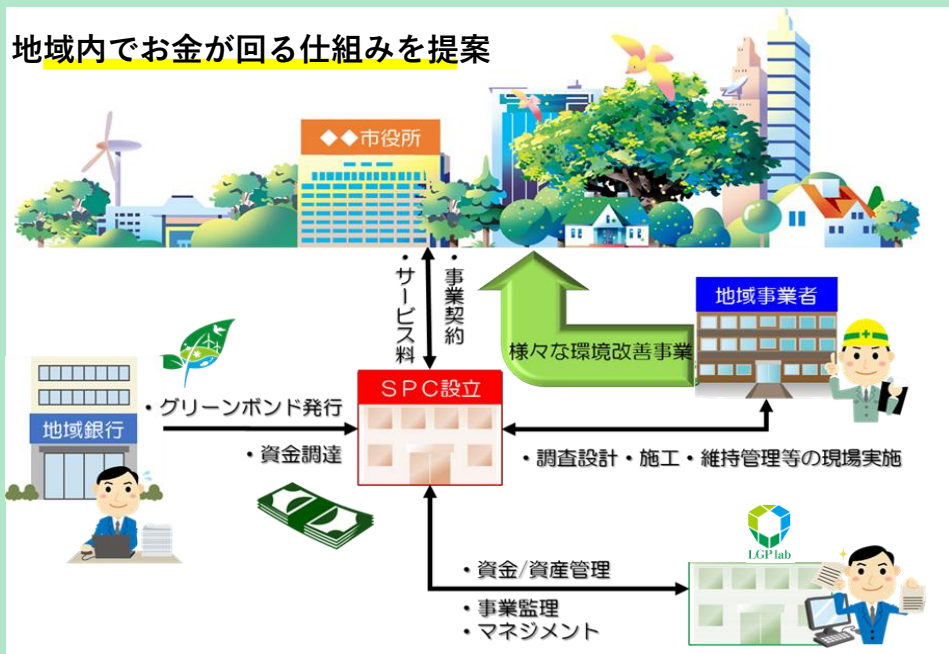


# 地域事業者を最大限活用 グリーンファイナンスを活用した脱炭素化事業

## 取組事例

- 令和2年度に有害な水銀灯が使用されている、金沢市内の小中学校体育館74施設と市営体育館7施設に現在設置されている照明約3,000灯(ほぼ水銀灯)を調査し、22年3月までにLED化更新工事を行い、その後10年間の維持管理を行う業務内容です。
- 事業資金は弊社設立のSPCよりグリーンファイナンスの一つであるグリーンボンドを発行し、地元金融機関引受けにより調達し、地元工事店での調査設計・施工・維持管理を行い、全て地域に精通した地元の業者「オール金沢」で行う事で、地域内の資金循環を可能とし持続可能なまちづくりを実現しました。

## 地域内でお金が回る仕組みを提案



## 地域課題

- 地域事業者や地域金融機関の活用
- 様々な脱炭素化事業へのチャレンジ
- 多額になる事業費の捻出

## 取組効果

- 大規模資金を要する事業であっても地域事業者が参入しやすい
- グリーンファイナンスを活用する事でSDGsに寄与
- CO2削減を含む環境価値の向上
- 実施設計・施工・維持管理・資金調達・リスク管理・長期運営等を包括的に委託する事で、行政運営効率化

## 今後の展望

- 国の財政措置（公共施設等適正管理推進事業債）と、PFIによる民間資金の同時活用により、初期費用を必要としないLED化を推進しています。初期費用0で一気にLED化し、サービス料の支払いには国の財政措置により整備費の40%程度が補助されます。さらに一気にLED化する事で電気料金や修繕費も大幅に削減できますので、財政負担軽減が図れます。  
**PFIによるLED化包括事業は、令和4年度より公募がスタートしています。**

推進している財政措置は令和4年～7年までの事業ですのでお早めに御相談ください。